学校番号	1016

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	創作表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	必携国語　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

副教材の問題集を使って漢字や語彙の学習をしたあと、毎回何らかのテーマで文章を書いてもらいます。まずは自分と自分の周りのことを紹介する、表現することから始め、さまざまな社会問題や、世の中のありかたについて適切な意見、提言を書く、というところまで行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
思考力を伸ばし言語感覚を磨く。
【学びに向かう力、人間性等】
進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原稿用紙の適切な使い方を身につける。文章を書くうえで必要な語彙力、漢字の読み書きの力を高める。	漢字の熟語や慣用句、ことわざなどを文脈に応じて適切に効果的に使うことができる。自分の思いや意見、主張を適切に文章として組み立て表現できる。	自然や人間、社会のさまざまな事象に対して、自分なりの思いや意見、主張を持つことができる。そしてその思いや意見、主張を主体的に表現する態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	重要な漢字の読み書き 同音異義語の書き分け 対義語類義語 自己紹介 住んでいる地域を紹介する 興味のあるものや体験について書く(お勧めしたい本や映画、旅行先での体験　など)	a:漢字の形や熟語の意味の違いについて意識する。原稿用紙の使い方を守って書ける。 b[書]:訴えたいことを焦点をしぼって適切に書ける。 c:与えられたテーマについて積極的な姿勢で書こうとしている。	定期テスト 副教材	定期テスト 副教材 作文	作文
二学期	熟語の構成 四字熟語 慣用句・ことわざ 近未来の日本を想像する 日本の課題を挙げる 「クローズアップ現代」をまとめる 個別の社会問題に対して意見を書く(少子高齢化、環境問題、情報社会　など)	a:漢字や言葉の意味の違いやニュアンスについて意識できている。 b[話／聞、書]:現状から見通せる将来を想像できる。番組で訴えたい内容をしっかり把握できている。現代社会の課題について自分の意見をしっかり書けている。 c:与えられたテーマについて主体的に考えて書こうとしている。	定期テスト 副教材	定期テスト 副教材 小論文	小論文
三学期	文脈と語彙 2024 年の大きな事件 どんな社会人になりたいか	a:いろんな言葉を文脈に応じて適切に使うことができる。 b[書]:社会の動きや課題について「自分ごと」ととらえて表現できている。 c:自然や人間、社会のさまざまな辞書に対して、自分なりの思いや意見、主張を持つことができる。そしてその思いや意見、主張を主体的に表現する態度を身につける。	定期テスト 副教材	定期テスト 副教材 小論文	小論文

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２　）時間

・書くこと　…　（　５０　）時間

・読むこと　…　（　１８　）時間